

1. プロジェクトスタッフと啓発チームメンバーが「JICA課題別研修・障害者就労促進」に参加しました



DPUB2スタッフのムンフトールさんのプレゼンテーションの様子

JICAは障害者就労促進活動の一環として、名古屋市でベリーズ、エチオピア、モンゴル、スリランカ、タジキスタン、ジンバブエの政府・NGO関係者を集め、21日間の研修プログラムを実施しました。

6カ国からの研修参加者は、自分たちが働く団体についてプレゼンテーションを行いました。6カ国の中で、モンゴルはJICA支援を受け、障害者就労促進プロジェクトを最初に開始した国です。そこで、DPUB2プロジェクトスタッフのムンフトールさんが、モンゴルで実施されているプロジェクトの活動内容や成果を紹介しました。また、モンゴルの啓発チームのメンバーであるバトチメグさんは、自身が所属するNGOビッド・チャドナの活動を紹介します。

研修参加者は、日本における障害者雇用に関する政府の政策や活動が、民間企業やNGOとどのように連携・協働しているのかを学びました。

また、民間企業やNGOを訪問し、彼らが障害者雇用に密接に関わり、支援している様子を視察し、新たな学びを得ました。さらに研修やセミナーへの参加に加え、名古屋市内のショッピングモールや博物館、歴史的建造物などを訪れ、日本文化を学びました。



啓発チームメンバーのバトチメグさんの活動紹介の様子

研修は2月2日に終了し、参加者は帰国後、本プログラムで学んだことを自国で実践する予定です。DPUB2は、モンゴルからの参加者2名が、多くの新しい知識とエネルギーを得て帰ってくることを期待しています。



JICA研修プログラムの参加者



自由な時間

目次

- 1 プロジェクトスタッフと啓発チームメンバーが「JICA課題別研修・障害者就労促進」に参加しました
- 2 第7回企業啓発セミナーが実施されました
- 3 ジョブコーチ研修が開催されました

2. 第7回企業啓発セミナーが実施されました

DPUB2は、1月30日に「第7回企業啓発セミナー」をモンゴル日本センターで実施しました。セミナーには、企業の人事担当者23名が参加しました。

L. ゲレルツェツェグ「モンゴル障害者職業研修センター」会長が開会のあいさつをし、千葉業務主任者がプロジェクト紹介と「モンゴルにおける障害者雇用の現状と課題」、エルデネゾルさん（ユニバーサル・プログレス）が「障害の社会モデルと4つのバリア、合理的配慮」、オドバルさん（チンギルテイ区労働福祉サービス課）が「障害者雇用促進に対する行政支援と民間企業責務」、特に労働法144条・障害者の法定雇用率と納付金について講義しました。



オドバルさんの講義

DPUB2は、今後も企業連携に努め、障害者雇用の促進に取り組んで行きたいと考えています。

3. ジョブコーチ研修が開催されました



研修の様子

1月30日～2月2日の3日間、ジョブコーチトレーナー8名がモンゴル日本センターの会議室に集まり、「第1回ジョブコーチ養成研修」の準備と本邦研修の事前研修を行いました。1月30日と2月1日は、磯部副業務主任者が養成研修の講義で伝える点を集約し、ジョブコーチの理念・役割・支援プロセスについてトレーナーの共通理解を深めました。最終日は自閉症協会アルタン会長を中心とし、ロールプレイを取り入れた演習の実施方法について協議を行いました。モンゴルのジョブコーチが対象とする障害は幅広く、身に着けるべきスキルも多種多様です。3月に実施予定のジョブコー

チ養成研修では、何の知識・スキルの獲得が一番のねらいとすべきか、活発な議論が行われました。

8名は、2月8日から開始する本邦研修に参加し、日本の養成研修を聴講し、演習時のトレーナーの役割やファシリテーションの方法も学びます。養成研修では彼女たちが講師となり、障害者の企業への就職と定着を支援するウランバートル市のジョブコーチを計36名、育成する予定です。



ジョブコーチトレーナーの皆さん

✉ dpub.jica@gmail.com

📍 The Ministry of Labor and Social Protection, 4th khoroo, Chingeltei district, United Nation's street-5, Ulaanbaatar 15160, Mongolia

📘 <https://www.facebook.com/jicadpub1and2>

🌐 <https://www.jica.go.jp/project/mongolia/030/index.html>

